

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策推進経費			担当部局	政策統括官(政策調整担当)	作成責任者			
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総合調整担当	参事官 飯田 剛			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱 (平成16年6月1日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)			関係する計画、通知等	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 (平成13年11月16日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)				
主要政策・施策	高齢社会対策、障害者施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組を広く普及させること等を通じ、バリアフリーやユニバーサルデザインが当然のこととして理解され、共生社会の実現が図られることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の設備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣(高齢社会対策又は障害者施策担当)から表彰し、事例集を作成してホームページでの公表等により普及を図るとともに、インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査を実施。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
	予算の状況	当初予算	4	4	4	3	3		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	4	4	4	3	3			
	執行額	2	2	2					
執行率(%)	50%	50%	50%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	50%	50%	50%						
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	2	2						
	委員等旅費	1	1						
	庁費	0	0						
	職員旅費	0	0						
	計	3	3						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 年度
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の推薦数50件以上	関係省庁、都道府県等からのバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の推薦数	成果実績	件	29	33	28	-	-
			目標値	件	-	50	50	30	-
			達成度	%	-	66	56	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 年度
	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進」ホームページアクセス件数2万件以上	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進」ホームページアクセス件数	成果実績	件	14,215	15,874	15,684	-	-
			目標値	件	20,000	20,000	20,000	20,000	-
			達成度	%	71.1	79.4	78.4	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								

	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度	
							2年度	年度	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	外出の際、困っている障害者、高齢者、妊婦や子供連れの人等を見かけても手助けをしない人のうち、対応方法がわからずに手助けできなかった人の割合25%以下	「心のバリアフリー」推進状況	成果実績	%	43.9	40.5	43.3	-	-
			目標値	%	25	25	25	25	-
			達成度	%	56.9	61.7	57.7	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査報告書(令和元3月 内閣府)								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰		活動実績	件	1	1	1		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	
	インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査		活動実績	件	1	1	1		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	X=バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰経費の決算額/Y=実施回数		単位当たり コスト	百万円	1	1	1	1	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	X=インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査経費の決算額/Y=実施回数		単位当たり コスト	百万円	1	0.8	0.8	1	
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	12. 共生社会実現のための施策の推進							
	施策	④バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する広報啓発、調査研究等							
	測定 指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度
		バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の推薦数	実績値	件	29	33	28	-	
			目標値	件	-	50	50	-	30
		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度
		バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する検証 (ホームページのアクセス数)	実績値	件	14,215	15,874	15,684	-	
			目標値	件	-	20,000	20,000	-	20,000
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	共生社会の実現を図るため、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組をホームページ等で広く普及させてきているとともに、各年度の調査結果の活用状況の検証を行ってきており、一定の成果を挙げてきたところであるが、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の推薦数及びバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する検証(ホームページアクセス数)により国民の理解度を計り、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱に基づく施策を引き続き推進する。								
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	障害者、高齢者を含む全ての人が安全で快適な社会生活を送っていく上で、バリアとなるものを除去するとともに、施設や製品等について誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方が必要であり、この両方に基づく取組を併せて推進することが求められており、本事業は社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係閣僚会議決定に基づき、表彰に関する事務を、関係省庁の協力を得て、内閣府において行うこととなっている。また、意識調査については、推進要綱に基づき関係省庁が一体となり施策を推進していくこととなっており、地方自治体、民間等に委ねることは出来ない。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係閣僚会議決定に基づき実施するものであり、また、意識調査についても関係閣僚会議で決定された推進要綱に基づき施策の進捗状況のフォローアップを実施するものとなっていることから、ともに優先度の高い事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、見積り合わせを行うことにより競争性のある調達方式としている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	随意契約(少額)で実施している事業については、見積りを複数社から取り、より低廉な社と契約したり、積算単価を含め内容を精査するなど、コスト削減を図っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰及び意識調査の実施に必要な経費に限定して予算計上し執行しているものであり、真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	職員旅費や委員等旅費については、パック等の利用や合理的・経済的な執行を行うことによる差額のためである。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰においては、最小限度の人員による合理的・効率的な旅費の執行に努めているとともに、平成25年度まで外部発注により実施していた「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行することによりコスト削減を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	優れた取組が多く推薦され、ホームページにも多くのアクセスがあり、普及・啓発に貢献しており、成果実績は成果目標に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行する等の方法により低コストでの実施を図っており、他の手段・方法等は考えられないが、職員、委員等の旅費の執行については、引き続き、適正な執行に努めていく。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進経費として計上している予算は、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費及び意識調査を実施する経費であり、見込みと予算執行は合致するものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的としており、受賞者やバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する活動を行う団体は更なる活動意欲が増進され、バリアフリーに関する認知度及びユニバーサルデザインに関する認知度を高め、高齢者・障害者を含めたあらゆる人々が安全で快適な社会生活が送れる社会システムの構築の一役を担うこととなる。 また、意識調査を実施することにより、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する認知度を把握し、要綱における数値目標での達成度合いを確認している。 さらに、これらの事業成果については、HP等に掲載することにより広く関係者等に活用していただいているところである。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	・事業の実施にあたり、職員による直接実施とするほか、旅費についてはパック等の利用をするなど予算執行の減額に努めた。 ・成果目標については、目標達成とはならなかったが、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰について優れた取組が多く推薦され、表彰式に安倍総理が出席されることで、多くのマスコミが取材に訪れ、表彰事例が広報・啓発されるとともに、内閣府HPにおいても表彰された優れた取組や意識調査結果を掲載するなどの広報・啓発を行い、一定の成果を挙げた。	
	改善の方向性	引き続き、予算の効果的・効率的な執行に努めるとともに、国民誰もが、障害者や高齢者等の自立した日常生活や社会生活を確保することの重要性について理解を深め、自然に支え合うことができるようにするため、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の更なる潜在的優良事例の発掘や、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査の調査項目を現状の課題に即したのものに見直すなど事業内容を検討しながら、引き続き広報啓発活動を実施することによって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに対する理解度を高め、さらに「心のバリアフリー」を推進する。	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めるとともに、概算要求においては、単価の改定に伴い増額となったところもあるが、真に必要な経費について精査を行い、前年度予算額を超えないものとした。

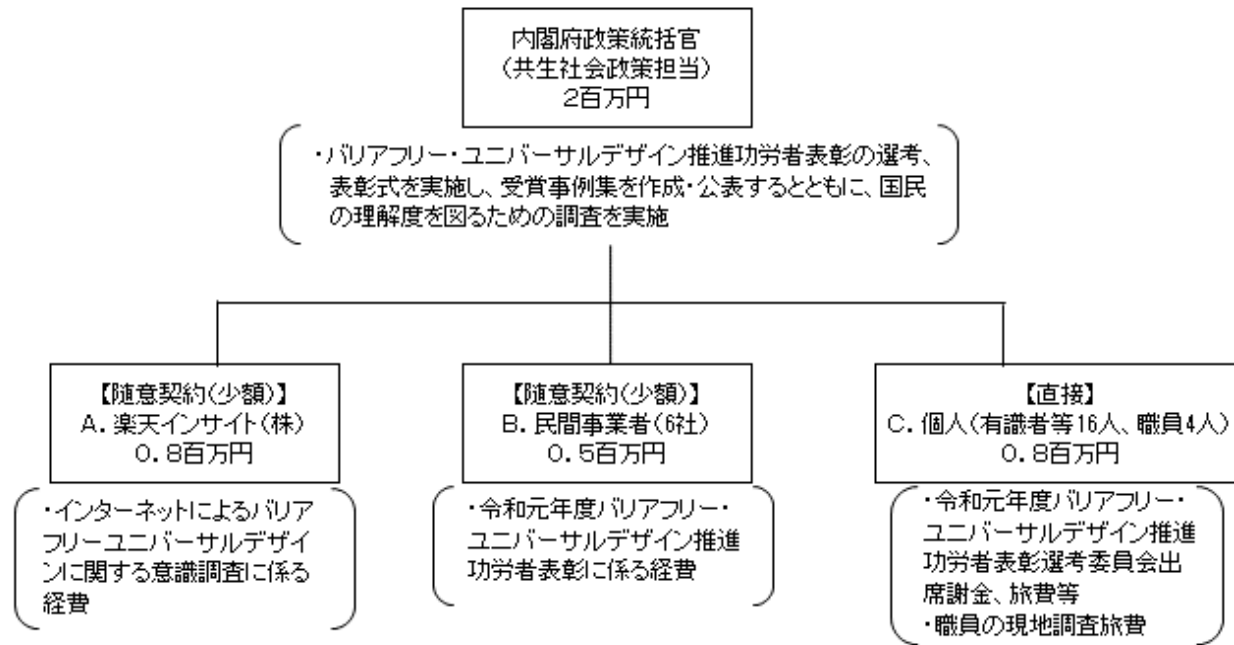
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0128	平成23年度	0129	平成24年度	0125	平成25年度	0086
平成26年度	0082	平成27年度	0087	平成28年度	0078	平成29年度	0083
平成30年度	0091						
平成31年度	内閣府 (0101)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 楽天インサイト(株)			B. (株)天賞堂		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	(100万円未満)			(100万円未満)	
計		0	計		0
C. 有識者A			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	(100万円未満)				
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	楽天インサイト(株)	8010701019594	インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査	0.8	随意契約 (少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)天賞堂	9010001050794	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費(盾の購入)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
2	(有)丸の内常盤家	8011002012207	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費(軽食、テーブルクロス借料等)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
3	全日本ろうあ連盟	1011105000131	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(手話通訳料)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
4	ヤサカ観光興業(株)	3011801012650	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費(大型バス借上げ)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
5	(株)東京書技房	7010001099719	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費(賞状の揮毫、筒の購入)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
6	(株)東京写真イメージング	5010401063805	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費(記念写真)	0	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有識者A	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
2	東武トップツアーズ(株)	4013201004021	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査旅費	0.1	その他	-	-	
3	受賞者A	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰旅費	0.1	その他	-	-	
4	有識者B	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
5	有識者C	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
6	有識者D	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
7	有識者E	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
8	有識者E	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0	その他	-	-	
9	有識者F	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0	その他	-	-	
10	有識者G	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0	その他	-	-	